

『まりふPRIDE』の醸成をめざして

岩国市立麻里布小学校

校長 重本 浩志

令和8年度は121人の新一年生を迎え、全校児童727人でスタートしました。4月には一年生をむかえる会、5月には運動会、6月には社会見学や読み聞かせ、野菜作り、職業講話など、多くの保護者や地域の皆様の御支援をいただきながら、教職員一丸となって教育活動の充実に努めております。特に、運動会での各学年の表現活動には、御観覧の皆様から子どもたちの成長を喜ぶ声をたくさんいただきました。自信に満ちた表情で演技する児童の姿は今でも脳裏に焼き付いています。

本校の今年度の3つの重点目標は、「安心・安全」「交流」「探求」です。基盤となるのは、「早寝・早起き・朝御飯」に始まる基本的生活習慣の確立です。この土台があるから元気に登校でき、友達や先生、地域の方々との交流を通して、いろいろなことに興味をもつようになります。そこから浮かんだ疑問を協力して解決することで、深い学びへとつながり、中学校や高等学校の探究的な学習へ発展していきます。

小中一貫教育を本格的に推進し始めて7年目を迎えます。合同挨拶運動に始まり、6月には全教職員が中学校の授業を参観して、子どもたちに身に付けさせたい力を議論しました。夏休みには児童・生徒も交えて議論する「熟議」の機会も予定しています。こうした取組により、子どもたちは自分の成長に多くの方が関わって下さっていることに気付くとともに、当事者であるという意識も高まります。

今後も地域とともにある学校として、地域について学び、自分たちにできることを考えながら、自主性や所属感を高め、まりふPRIDEを抱きながらたくましく夢を実現しようとする子どもたちの育成をめざします。

